

科目名		消化器内分泌外科学演習	
科目責任者		平 田 敬 治	(第 1 外科学 教授)
担当者		柴 尾 和 徳	(第 1 外科学 准教授)
開講時期:		2～3年次	単位数: 6 単位
			時間数: 90分× 45 回
● 科目の教育目標			
授業の目的			
消化器・内分泌に関する論文と症例データベースを用いて臨床研究に必要な基礎的知識や統計処理法を学んでその意義と問題点を考慮し、更に演習を通してその手技を習得する。			
到達目標			
1) 臨床研究に必要な基礎的知識を理解し述べることができる。			
2) 臨床研究に用いられる各種統計学的手法を理解し述べることができる。			
3) 臨床研究で得られたデータとその解釈につき、その意義と問題点を論じることができる。			
4) バイオマーカー、特に予後因子と効果予測因子について理解し述べることができる。			
5) 分子生物学的手法の臨床研究への応用につき、その意義を述べることができる。			
6) 臨床データの基本的な統計学的指標を計算し評価することができる。			
7) 各種診断法の診断精度の計算と評価を行うことができる。			
8) 生存率の算出と評価を行うことができる。			
9) 各種統計学的結果の意義と問題点を批判的に評価することができる。			
授業計画			
4～6月		1)、2)	
7～9月		3)、4)	
10～12月		5)、6)、7)	
1～3月		8)、9)	
授業内容および方法			
スライドや資料を使った実習または演習。			
● 評価方法		検討会での討論・発表・レポート等で総合評価する。 評価基準として 優 (80点以上) 良 (70点以上) 可 (60点以上) 不可 (60点未満) とする。	
● 参考文献		演習の中で必要に応じ紹介する。	